

# 目次

序	i
はしがき	ii
編集委員一覧	xii
執筆者一覧	xiii

## 日本の薬学史

1

### 総論

1 古代から江戸・明治・大正・昭和まで	西川 隆	3
2 売薬の歴史	鈴木 達彦	31
3 薬事制度の歴史	中村 健・近藤 晃司	36
4 製薬学者と薬剤師の養成で始まる薬学教育の歴史	奥田 潤・西川 隆	54
5 医薬分業の歴史	中村 健・近藤 晃司	68
6 製薬産業の歴史 黎明期から国際化時代の今日まで	西川 隆	80

### 各論

1 神話時代および古代のくすりと医療	奥田 潤	101
2 推古天皇と「薬日」	荒木 二夫	103
3 光明皇后の「施薬院」と「悲田院」	荒木 二夫	104
4 歴史に現われた主な疾病	奥田 潤・飯田 耕太郎	105
5 漢方と本草学の歴史	小曾戸 洋	108
6 飛鳥時代～奈良時代の薬物事情	指田 豊	112
7 鑑真和上と正倉院薬物	指田 豊	114
8 法隆寺の薬師如来像と薬学関係の記録	奥田 潤	116
9 薬師如来像とその薬壺への祈り	奥田 潤	118
10 最初の実用的な薬学書『和剂局方』	鈴木 達彦	121
11 わが国最古の売薬「西大寺豊心丹」	鈴木 達彦	123
12 現存する最古の売薬「ういろう透頂香」	鈴木 達彦	124
13 禅僧による医学と有林『福田方』	鈴木 達彦	125
14 徳川家康の薬	指田 豊	126
15 江戸の薬市場・日本橋本町の誕生と発展	荻原 通弘・鈴木 達彦	128
16 大坂和漢薬種問屋の誕生と道修町の発展	宮本 義夫	131
17 江戸時代の主な薬草園	鈴木 達彦	134
18 富山の「反魂丹」と薬業の発祥	御影 雅幸	137

19	伊勢の売薬の歴史	加藤 宏明	139
20	人参座と徳川吉宗の薬草栽培	指田 豊	141
21	島根・大根島における薬用人参栽培の歴史	成田 研一	143
22	幕府の「和薬改会所」と「和薬種六ヶ条」	鈴木 達彦	145
23	幕府の「御定書百箇条」と毒薬	船山 信次	147
24	松岡玄達、小野蘭山の江戸期本草学	鈴木 達彦	149
25	尾張本草学と伊藤圭介	河村 典久	151
26	緒方洪庵の薬箱	高橋 京子	153
27	江戸時代の病気とくすり	稲垣 裕美	155
28	江戸時代の薬の携帯とその容器	服部 昭	157
29	乳鉢・薬研など製薬道具の変遷	稲垣 裕美	159
30	C・P・ツェンペリーと水銀製剤	高橋 文	164
31	オランダ医学導入と春林軒膏薬	鈴木 達彦	166
32	伊吹山と薬草	河村 典久	168
33	木曾御嶽山と百草	小谷 宗次	170
34	印葉図による植物拓本の歴史	河村 典久	173
35	武田長兵衛一初代から6代目まで	宮本 義夫	175
36	シーボルトを支えた薬剤師ビュルガー	ヴォルフガング・ミヒェル	177
37	医薬学のお雇い外国人 —ボンペとミュルレル—	高橋 文	179
38	ヘボン伝授の目薬「精銚水」と岸田吟香	西川 隆	181
39	医薬品広告の歴史	竹原 潤	182
40	わが国薬学の基礎を築いたゲールツ	西川 隆	189
41	日本化学の黎明を告げた大阪舎密局	宮崎 啓一	192
42	金沢に創立されたわが国最初の医学所製薬学科とP・スロイス	荒木 二夫	194
43	明治時代の病気とくすり	稲垣 裕美	197
44	コレラ薬 芳香散・沸騰散・石炭酸	荻原 通弘	199
45	医薬品の公定書『日本薬局方』の歴史	五位野 政彦	201
46	日本の薬学の父・長井長義	砂金 信義	211
47	薬学・薬事制度の方向性を示した柴田承桂	相見 則郎	214
48	薬学創始者本流の責任を貫いた指導者・下山順一郎	西川 隆	217
49	水質・食品検査と毒物鑑定を薬学の役割とした丹波敬三	西川 隆	220
50	医科大学病院の「模範薬局」と丹羽藤吉郎	小清水 敏昌	223
51	薬事衛生行政の達識者田原良純	末廣 雅也	226
52	わが国初の私立学校の誕生と藤田正方	五位野 政彦	229
53	草創期の京都の薬学教育とルドルフ・レーマン	西野 武志・鈴木 栄樹	231
54	わが国の薬剤官の歴史	堀口 紀博	234
55	最初の薬剤師試験	五位野 政彦	238

56	わが国初期の女性薬剤師 岡本直栄	高橋 文	239
57	明治期に誕生した薬学校 名古屋市立大学薬学部	八代 有	242
58	明治期に誕生した薬学校 熊本大学薬学部	小清水 敏昌	244
59	明治期に誕生した薬学校 長崎大学薬学部	中島 憲一郎	246
60	明治期に誕生した薬学校 千葉大学薬学部	小清水 敏昌	248
61	明治期に誕生した薬学校 富山大学薬学部	伏見 裕利	250
62	薬学教育の基礎を築いた恩田重信 医薬分業の確立と薬剤師の養成	恩田 乾次郎	252
63	薬学校や薬剤師会の発展を財政面から支えた福原有信	西川 隆	254
64	製薬業界の近代化に尽くした田邊五兵衛	松本 和男	257
65	薬種問屋から近代的製薬企業の基礎を築いた塩野義三郎	荒木 二夫	259
66	日本薬剤師会の誕生と初代会長正親町実正	西川 隆	261
67	指定医薬品制度や売薬法制定を実現させた池口慶三	西川 隆	263
68	薬界の声を国政に反映させた大口喜六	西川 隆	266
69	「同業者に先んじた商法」を目指した初代藤沢友吉	西川 隆	268
70	三共を興した薬と無縁の実業家塩原又策	砂金 信義	270
71	近代的病院薬局の先駆け・九大病院薬局長酒井甲太郎	小清水 敏昌	272
72	皇居外堀の汚物問題を解決した西崎弘太郎	西川 隆	274
73	世界初の固形肝油ドロップを完成した河合亀太郎	西川 隆	276
74	化粧品の歴史	能崎 章輔	278
75	開局薬局の業務の変遷	清水 真知	282
76	日本の歴史ある薬局 奥井薬局の歴史	奥井 登美子	288
77	北海道の薬学薬業の歴史	高田 昌彦	292
78	近代的新薬宣伝を实践した最初のMR 二宮昌平	西川 隆	295
79	MRの歴史	小清水 敏昌	297
80	星一によるわが国最初のアルカロイドの製造	三澤 美和	301
81	女子薬学専門学校の新設ラッシュ	宮本 法子	305
82	植物塩基の構造研究をした近藤平三郎	折原 裕	307
83	薬学・薬業の「中興の祖」慶松勝左衛門	西川 隆	309
84	寄生虫王国脱出の原動力、サントニンの生産と市野瀬潜	指田 豊	312
85	天然薬物・地衣類の化学研究の道を拓いた朝比奈泰彦	相見 則郎	314
86	医薬品国産化や薬学教育に功績を残した村山義温	西川 隆	317
87	薬局業務を学問レベルに引き上げた清水藤太郎	川瀬 清・西川 隆	320
88	わが国薬学に薬理学・生化学分野を導入した緒方章	末廣 雅也・西川 隆	322
89	薬事行政を主導した生薬学者・刈米達夫	指田 豊	324
90	含窒素芳香環 N-オキサイドの反応研究をした落合英二	折原 裕	327
91	石館守三 ハンセン病撲滅から薬学を目指す	山田 光男	329
92	天然物化学で世界を主導した津田恭介	末廣 雅也	331

93	生物系薬学の確立に尽くした伊藤四十二	末廣 雅也	333
94	薬学の研究・教育の再構築を主導した宮木高明	川瀬 清・西川 隆	335
95	歓迎された旧日本軍の医薬品放出	西川 隆	337
96	沖縄における薬学・薬業の発祥とその歴史		
	米国統治下における薬業の歴史と変遷	長嶺 順子・金城 保景・新垣 正次・神村 武之	338
97	「七人委員会」答申と医薬品	西川 隆	343
98	臨床薬学の必要性を最初に唱えた久保文苗	小清水 敏昌	345
99	菌類成分の化学から生薬学・天然物化学研究を展開した柴田承二	相見 則郎	348
100	薬学の振興と薬剤師の職能発揮に尽くした高木敬次郎	末廣 雅也	351
101	Takeru Higuchi 教授とわが国薬剤学の発展	小西 良士	353
102	日本における医療薬学教育の変遷	半谷 眞七子	355
103	日本における Drug Information 活動の重要性を唱えた堀岡正義	小清水 敏昌	358
104	薬学の性格を問い続けた辰野高司	竹中 祐典	360
105	薬剤師国家試験の変遷	福島 紀子	362
106	薬剤師の倫理の歴史	川村 和美	366
107	病院薬剤師の歴史と業務の変遷	小清水 敏昌	370
108	学校薬剤師の歴史	宮本 法子	376
109	日本で創薬された画期的な新薬	荒木 二夫・小清水 敏昌	382
110	薬価基準の歴史	横山 亮一・松本 和男	388
111	医薬品の流通業史	孫 一善	393
112	日本のワクチン製剤とワクチン産業の歴史	Julia Yongue	398
113	医薬品再評価の歴史	高橋 春男	403
114	浮田忠之進の研究と水銀農薬規制	河村 典久	407
115	キノホルム薬害に終止符をうった田村善藏の研究成果	吉岡 正則	409
116	薬害の歴史とそれに伴う薬事制度の変遷	齋藤 充生	412
117	北里大学を建学した秦藤樹	八木澤 守正	417
118	内藤記念くすり博物館と内藤豊次	伊藤 恭子	419
119	ソリブジンの薬害を薬理的に解明した渡部烈の研究成果	小倉 健一郎	421
120	わが国の薬効評価の歴史	津谷 喜一郎・寺岡 章雄	424
121	戦後の医薬品審査の歴史 PMDEC 新設から PMDA スタートの頃	森本 和滋	430
122	医療法で薬剤師を「医療の担い手」と明記させた石井道子	宮本 法子	434
123	中富記念くすり博物館と久光製薬株式会社	山川 秀機	437
124	PMS の歴史	高橋 春男	439
125	この数十年間のめざましい薬物治療の進歩	三澤 美和	442

## 各論

- 1 大同類聚方 ..... 榎 佐知子 … 453
- 2 医心方 ..... 榎 佐知子 … 455
- 3 『尺素往来』を著した一条兼良 ..... 鈴木 達彦 … 459
- 4 日本漢方の自立を促した田代三喜の医学 ..... 鈴木 達彦 … 460
- 5 啓迪院と曲直瀬道三 ..... 鈴木 達彦 … 461
- 6 日向の薬学薬業の歴史 ..... 山本 郁男 … 462
- 7 最初に来日した蘭館医カスバル ..... 荒木 二夫 … 465
- 8 和蘭医薬学と長崎 ..... ヴォルフガング・ミヒェル … 467
- 9 古方派医学を推進した後藤良山と吉益東洞 ..... 鈴木 達彦 … 472
- 10 解剖書『蔵志』と山脇東洋 ..... 鈴木 達彦 … 473
- 11 『解体新書』を著した前野良沢と杉田玄白 ..... 伊藤 恭子 … 474
- 12 麻酔薬「通仙散」と華岡青洲 ..... 村岡 修 … 476
- 13 幕府医学館を主導した多紀元簡と多紀元堅 ..... 鈴木 達彦 … 478
- 14 順天堂と佐藤泰然 ..... 小清水 敏昌 … 479
- 15 適々斎塾と大阪除痘館を設けた緒方洪庵 ..... 高橋 京子 … 481
- 16 明治期の衛生行政の確立に尽くした長与専斎 ..... 田引 勢郎 … 484
- 17 血清療法を確立した細菌学者 北里柴三郎 ..... 砂金 信義 … 487
- 18 アドレナリン、タカジアスターゼを発見した高峰讓吉 ..... 荒木 二夫 … 489
- 19 蔓延する脚気治療に貢献した高木兼寛と鈴木梅太郎 ..... 砂金 信義 … 491
- 20 わが国における薬物学の創始者・高橋順太郎 ..... 荒木 二夫 … 493
- 21 赤痢菌の発見に輝く志賀潔 ..... 牧 純 … 494
- 22 世界初の人工痛を作った山極勝三郎 ..... 砂金 信義 … 496
- 23 日本住血吸虫を発見した桂田富士郎 ..... 砂金 信義 … 498
- 24 世界初の化学療法剤サルバルサンを創製した秦佐八郎 ..... 八木澤 守正 … 499
- 25 黄熱病研究の犠牲となる野口英世 ..... 牧 純 … 501
- 26 橋本病の発見者・橋本策 ..... 砂金 信義 … 503
- 27 世界の研究者から尊敬された抗生物質研究の先駆者梅澤濱夫 ..... 八木澤 守正 … 504
- 28 日本における看護の歴史 ..... 田中 幸子 … 506

## 外国の薬学史

## 総論

- 1 韓国の薬学史 ..... 沈 昌求 … 511

2	中国の薬学史	小松 かつ子	517
3	インドの薬学史	夏目 葉子	532
4	ドイツの薬学史	田中 玉美	543
5	ポーランドの薬学史	奥田 潤	550
6	フランスの薬学史	辰野 美紀	557
7	スイスの薬学史	François Ledermann	566
8	イタリアの薬学史	鈴木 伸二	572
9	英国の薬学史	柳澤 波香	582
10	アメリカの薬学史	Julia Yongue・奥田 潤	590
	古代ギリシア・ローマの薬物史	岸本 良彦	600

## 各 論

		奥田 潤	607
1	有史以前の医学・薬学		607
2	古代バビロニアの薬学		608
3	医学史、薬学史と蛇		609
4	古代中国の薬学 神農		610
5	パピルス・エベルスの頃 エジプト		611
6	薬学の紋章 ヒュゲイア像		613
7	テラ・シギラタ(刻印粘土錠) 昔の商標つき薬品		614
8	植物学、生薬学の父 テオフラストス		616
9	毒物学者国王 ミトリダテス6世		617
10	ヒエラ・ピクラ 聖なる苦味薬：2000年の歴史		619
11	古代ヨーロッパの万能秘薬 テリアカ		622
12	薬物学者 P・ディオスコリデス		624
13	古代から中世までの古い薬学書		625
14	調剤の実験家 C・ガレノス		629
15	薬学と医学の守護神 ダミアンとコスマス		631
16	中世の修道院の薬局		633
17	世界最初の薬局 バグダッド		634
18	アラブの調剤師の進出		636
19	ペルシャのガレノス I・S・アヴィセンナ		638
20	医薬分業の始まり フリードリヒ2世		640
21	世界最初の薬局方 イタリア・フィレンツェ		642
22	フランス薬剤師のカナダでの活躍 ルイ・エベール		644
23	ヨーロッパ・アメリカの製薬産業史		646
24	イギリスの調剤師会 ロンドン		649
25	病人を治した植民地総督 J・ウインスロップ		651

26	薬剤師としてのキリスト画	653
27	薬学王国アメリカ マーシャル薬局	654
28	スウェーデンの薬学者 C・W・シェーレ	656
29	植民地アメリカにおける最初の病院薬局	658
30	アメリカの最初の薬剤将校 A・クレイギー	660
31	薬剤師、薬種商のガラス壺「カーボーイ」の秘密	662
32	紀元前から実験を重ねられた薬学の研究	664
33	シェーカー教徒と薬草	666
34	免疫研究から始まった生物学的製剤	668
35	モルフィンの発見者 F・W・A・ザーチュルナー	670
36	アメリカ薬学の父 W・プロクター, Jr.	672
37	キニーネの発見 P・J・ペレティエとJ・B・カヴェントウ	675
38	アメリカ薬剤師会の結成	677
39	ヨーロッパ薬学とアメリカ薬学の出会い	679
40	アメリカ薬学教育の改革 A・B・プレスコット教授	681
41	アメリカ薬局方	683
42	薬剤の標準化 A・B・リオン教授	684
43	ジャングルの秘密 H・H・ルスビー教授	686
44	薬学の発明家 E・S・A・A・リムザン	688
45	化学療法の発達 E・F・A・フルノー	690
46	抗生物質の発見と耐性菌の出現	692

## 外国の医療史

奥田 潤 697

### 各論

1	古代エジプトの医療	699
2	医療法の原典 ハンムラビ法典(メソポタミア)	701
3	古代ペルーの穿頭術	703
4	原始時代の医療	704
5	ギリシャの医神アスクレピオスへの崇拜とその寺院	706
6	ギリシャ医療を科学にした医師 ヒポクラテス	708
7	45世代に影響を及ぼしたC・ガレノスの古典医学	710
8	中世につくられたヨーロッパとアラブの病院	712
9	アラビア医学の創始者 ラーゼス	714
10	古典医学の疫病神 P・A・パラケルスス	716
11	真の外科医へ A・パレ	718

12 人間の解剖学の創立者 A・ヴェサリウス	720
13 血液循環説を打ち立てた W・ハーヴェー	722
14 臨床医学の提案者 T・シデナム	724
15 自分のレンズで小動物を観察 A・レーウエンフーク	726
16 病気の解明に病理解剖を始めた G・B・モルガーニ	728
17 船乗りの病の克服者 J・リンド	730
18 科学的外科学の創立者 J・ハンター	732
19 酸素と燃焼・呼吸を解明した A・L・ラヴォアジエ	734
20 精神病患者を鎖から解放した P・ピネル	736
21 黄熱病と闘った医師で愛国者 B・ラッシュ	738
22 天然痘の流行を阻止した E・ジェンナー	740
23 聴診器の発明 R・T・H・ラエネック	742
24 生理化学者 C・ベルナル	744
25 妊産婦たちの擁護者 I・P・ゼンメルワイス	747
26 痛みの克服と吸入麻酔剤の歴史 歯科医師 W・T・G・モートン	749
27 看護婦の養成と活躍 F・ナイチンゲール	752
28 偉大な物理学者・視聴覚専門医 H・L・F・ヘルムホルツ	754
29 細胞病理学の始祖 R・L・C・ウィルヒョー	756
30 医学を変えた化学者 L・バストゥール	758
31 石炭酸による消毒を始めた 外科医 J・リスター	762
32 目に見えない光線で命を救った W・レントゲン	764
33 黄熱病を征服した W・リードと M・セーラー	767
34 神経組織の地図をつくる S・ラモン・イ・カハル	770
35 化学療法の創始者 P・エールリッヒ	772
36 消化器生理学とホメオスタシス W・B・キャノン	775
37 栄養失調とビタミン欠乏症 J・ゴールドパーガー	777
38 ペニシリンの発見 A・フレミング	780
39 糖尿病とインスリン F・バンティング	784
日本の薬学史・医療史年表	西川 隆・五位野 政彦・近藤 晃司 789
外国の薬学史・医療史年表	奥田 潤・荒木 二夫 832
ノーベル賞受賞者年表 薬学史・医療史関連	奥田 潤・荒木 二夫 845
日本薬学会賞受賞者一覧	西川 隆 851
日本国内の主な薬学関係博物館・資料館一覧	859
事項索引	860
人名索引	874